



ひじかわ
肱川 あらし 予報会 殿
よほうかい
大洲市

■事績

毎年10月から3月にかけて、大洲盆地で発生した霧が肱川の河口へ吹きおろす「肱川あらし」。肱川河口まで両側に山が連なる地形がこの絶景を生み出すといわれている。鹿児島県の川内川あらし、兵庫県の円山川あらしと並んで、日本三大あらしと呼ばれ、世界的にも珍しい気象現象を予測する会として地元住民が立ち上げた。

「肱川あらし予報会」は、2015年11月に専用ホームページを開設し、会長の濱田毅さんが中心となって毎日の天気度を読み解き、シーズン中は毎日19時に翌日の肱川あらし発生の確率を伝えている。YouTubeチャンネルでも予報を配信している。

県内在住の少女らで作ったアラシガールズというユニットもYouTubeチャンネルに登場し、肱川あらしだけでなく長浜や肱川の地域情報も発信している。発生の的中率は8割ほど。

2021年は10月28日にシーズン初めての肱川あらしが確認された。

発生確率を広く知らせることで多くの人に肱川あらしへの関心を高めてもらい、肱川が誇る奇跡の自然現象の魅力を、地域から世界に発信している。